

重国籍のリアル

なってしまうこと・選べないこと

「国際結婚を考える会」秋の関西例会

2018年

11月4日(日) 14:00-17:00

ヒロセビル1階ホール

京都市中京区烏丸二条上ル東側

地下鉄烏丸線御池2番出口徒歩5分 京都国際漫画ミュージアム北

会費：会員無料 一般 500円(資料代)

2年前の蓮舫議員「重国籍」問題への攻撃の記憶がまだ覚めやらぬ今、大坂なおみ選手の活躍や玉城デニー沖縄知事の誕生で、複数のルーツへの関心が高まっています。しかし実際に「重国籍」とはどのような状態なのでしょうか？ バッシングに晒される恐れや、国籍国の法令に挟まれて困難に直面することも少なくありません。それぞれのルーツにまつわる研究をしている研究者が、そのリアルをお話します。

報告者紹介

岡野翔太(葉翔太) Okano Shota (Yeh, Hsiang-tai)

大阪大学人間科学研究科博士課程。台湾名は葉翔太。父は台湾人、母は日本人。専門は華僑華人研究、台湾現代史、中国近現代史。

朴沙羅 PARK Sara

神戸大学国際文化学研究科講師。父は韓国人、母は日本人。専門はナショナリズム、移民政策史。

お問い合わせ

Tel: 090-3704-3640
(国際結婚を考える会・京都)
どなたでもご自由にご参加ください。

共催：神戸大学国際文化学研究推進センター (Promis)